自治体 しがの仲間
発行責任者 滋賀県自治体労働組合総連合（滋賀自治労連）委員長 杉本 高
〒520-0051 滋賀県大津市梅林1丁目3番30号 電話077-527-5511/FAX 077-527-5522
2024年 3 月　No.350

物価高騰と地域間格差を吹き飛ばせ！
滋賀自治労連 2023年度中央委員会で 24春闘方針を確立

2月4日、滋賀自治労連は2023年度中央委員会を開催し、24春闘方針を確立。以下、学習会の概要と各職場からの発言の一部（要旨）を紹介します。

学習会「民主的自治体労働者論」
～役割と存在に確信を持って、要求実現の運動に足を踏み出そう～

猿橋　均さん

民主的自治体労働者論とは、「自治体労働者自身の働き方や権利・労働条件の確保」と「地域住民の生き・働き・生活する権利の改善や地方自治の発展」の2つの実現を、統一してめざす運動の考え方のこと。と言っても、漢字が10個も並ぶ堅いイメージなので、具体的に、大阪・貝塚市の生活保護職場での業務改善の取り組み、奈良・大和郡山市清掃支部非正規分会の取り組み、大阪・吹田市職労の窓口業務民間委託撤回の取り組みの事例から考えよう。（紙面の関係で、ここでは大和郡山市の事例を紹介します）

奈良・大和郡山市清掃支部 非正規分会の取り組み

同市清掃職場では民間委託や直営部分でも非正規化が進行するなか、現場の非正規職員たちが日々雇用で交通費支給なし、一時金もなし、最賃ギリギリの生活を何とかしようと労働組合を結成した。そして労働組合の近畿ブロックの交流集会に参加したとき、他市の清掃職場の福祉収集に学び、障害者・高齢者宅に一声かけて戸口収集を行う「にこやか収集」はじめ、「自治会の清掃活動への参加・収集」「私有の空き地の草刈り」などに取り組むことを組合から大和郡山市当局に提案した。日々雇用で交通費支給がなかったので非正規職員のほとんどが市内在住で、町内会の役員をしている人もいるなど、日頃からゴミ出しの不便を耳にしていたことも背景にあった。

実際に始めてみると、「委託なら、障害者とか高齢者などの個人情報が出しにくい」「委託なら、通常のゴミ収集以外のことを頼めば別途契約と予算が必要」と自治体直営ならではの強みも発揮し、住民や議員から高い評価が寄せられ、市長からも表彰された。

こうした市民や議会からの評価と信頼を背景に、労働条件の抜本的改善を堂々と要求。不安定な日々雇用の臨時職員から継続雇用の嘱託職員へと見直され、念願の通勤手当支給はじめ、賃金改善、一時金支給、社会保険加入を勝ち取った。何より大きな成果は、全面民間委託をストップさせ、直営の清掃作業の存続を勝ち取った。まさに職場要求と住民要求の前進を統一的に取り組んだ「民主的自治体労働者論」の実践例だ。

自治労連の2つの魅力を今こそ

猿橋氏は最後に、「民主的自治体労働者論をバックボーンとし、市民の願いと働きがいがある職場・自治体をつくろう。自治労連結成の原点である『自治体・公務公共職場に働く、すべての労働者の団結の母体』としての役割を今こそ発揮し、未加入の仲間に共同の運動を拡げるとともに、『労働組合に入って、切実な要求の実現を』の呼びかけと、働きかけを強めよう」と講演を結んだ。

各職場からの発言

勝ち取った成果を知らせ組合員を増やそう！

昨年の年末確定闘争では給料表を国・県並みに戻すことを勝ち取ったが、人事評価の結果が標準で4号昇給するところ2号しか昇給しないという「転換号給」という賃金抑制策が導入された。

会計年度任用職員については、給与改定の4月遡及での「差額支給」と新たに勤勉手当の支給を勝ち取ることができた。各児童クラブでは組合が頑張って交渉して勝ち取った成果であることを伝えて、支援員（会計年度任用職員）の加入拡大にもつながっている。やはり勝ち取った成果を知らせ、組合運動を見えるようにすることが大事だ。

住民の当たり前の生活を支えているのは私たち公務の仕事だということに誇りを持ち、物価高騰に負けない生活給が確保されるよう運動を強化したい。

大津市労連　前川　ひろ美さん

6町一体での連帯した運動の継続と発展を！

昨年の確定闘争では、基本給については正規・非正規を問わず4月に遡及しての支給を勝ち取った。しかし、今なお続く歴史的な物価高に対して、人勧準拠の壁を超えることはできなかった。生計費原則に追い付かないばかりか、ただでさえ地域手当のない本町では、大幅賃上げにつなげていく運動を今後も継続的に進めることが必要と感じている。特に地域手当について現時点では、条例化にも至っていない。滋賀自治労連が中心となり取り組んでいる6町一体での連帯した取り組みを、2024年もぜひ継続して更なる発展をお願いしたい。その他には、課長補佐級管理職手当の増額なども勝ち取った。今後は子育て世代の仲間が安心して働き続けられるよう、子育て支援時間が導入できないか等、交渉を進めたい。

日野町職労　岡　健吾さん

7年連続増員も欠員埋まらず。職場・世代間のアンバランス解消こそ急務！

去年の11月に取り組んだ「一言メッセージ」では、150人ぐらいから声が寄せられた。「育休取得の代替職員が全然こなくて職場が疲弊している」「年度当初から欠員が出ている」「増え続ける業務量に見合った増員が行われていない」「特定の職員に負担が重なっている」「休みが全然取れない」等々の深刻で切実な内容だ。特に資格専門職や技術系の職員の欠員の状況は酷い。年度途中に特別募集とか前倒し採用などが行われているが、複数の職種で欠員が埋まらない。

一方、県では基本的に男性職員が育休を申請すれば必ず取れるような状況になっているが、その取得された方の周りの負担がすごく増えている。根底には歪な年齢構成の問題もあり、若年層が極端に多い反面、40歳代とかの経験者が極端に少なく、とりわけ係長級への負担増が深刻化している。災害や感染症への対応はじめ、緊急時にも誰もが安心して働き続けられる職場を再構築していくことが、住民のために良い仕事ができるためにも必要不可欠だ。

滋賀県職　谷田　誠さん

働きやすい職場、働きがいを持って仕事ができる職場が大事

震災が発生すると給水活動の応援が全国から駆けつける。ただ、いくら応援が来ても、現場の受入れ体制が整っていないと復旧活動はすごく遅れる。特に、「どこどこで給水活動をできる場所があります」「ここからここまでの間は水が使えます」等のようなことを、いかに早く職員が把握して、情報を共有して給水していくかということが重要だ。

しかし、現場では、実際には人手が足りていないことや、職員が専門でやってこなかったこともあり水道の状況が分からないということもあった。

大津市でも広域化で1つの浄水場が受け持つエリアは非常に大きくなる。1つの浄水場で5万件、10万件の規模になると、災害時にはどこで水道が漏れて、どこを止めたらどうなるかが把握するのが難しくなる。応援で他の自治体から来た職員が見てすぐに分かるものではない。同じような震災が大津市でも起こったら、いつ復旧できるのか時間がかかるのではと非常に危惧している。

だからこそ、普段から技術職の職員が極力働きやすく、働きがいを持って仕事ができる体制を作っていかなければならないということを、これからは特に訴えていきたい。以前「保育園落ちた日本死ね」という話があったが、「給水できない大津市死ね」と言われることがないように頑張っていきたい。

大津市労連　菅原　藤了さん

職員は市民の財産。働き続けられる職場作りを進めたい！

他の自治体でも中途退職が多いというアンケート結果を見て衝撃を受けた。自分の周りでも「働きづらい」と辞めていった先輩や同僚がいるが、人材の流出は市役所にとって本当に損失だ。組合でも、市当局にその問題を指摘したが、家庭や健康の理由やその人の「転職のステップ」等と言い、人材の流出に危機感が感じられず、そのことに大変危機感を抱いている。

なぜ辞めていくのか、どこが悪いのか、そういった問題をどこに相談したらいいのか、こういう人たちにどうやって寄り添っていけるのか。こういうところを、もっと考えていくべきだと思う。他の自治体の方とも一緒に考えて、働き続けられる職場作りを進めたい。

大津市労連　清河　紗千さん

隠蔽された大震災、昭和東南海地震
―軍隊は被災者を救助しない―

2024年1月1日16時10分に、石川県能登地方を震源にマグニチュード7.6の地震が発生し、大きな被害が発生しました。また、東日本大震災（2011年3月11日発生）から13年が経過しようとしています。

近年、災害救助報道で自衛隊がクローズアップされることが増えています。自衛隊法83条に基づく災害派遣で、「都道府県知事その他政令で定める者は（中略）必要があると認める場合には、部隊等の派遣を防衛大臣又はその指定する者に要請することができる」「防衛大臣又はその指定する者は（中略）部隊等を救援のため派遣することができる」と規定しており、派遣するか否かは自衛隊の裁量です。自衛隊の任務は「我が国の平和と独立を守り、国の安全を保つため、我が国を防衛すること」「必要に応じ、公共の秩序の維持に当たる」ことであり（自衛隊法3条1項）、当然のことながらこちらの任務が優先されます。

では、さきの太平洋戦争ではどうだったのでしょうか。1944年12月7日午後1時35分ごろ、熊野灘沖を震源とするM7.9の地震が発生しました。震度7は愛知県西尾市、静岡県菊川市、袋井市などと推定され、津波は8～10メートル、「昭和東南海地震」と呼ばれ、南海トラフ巨大地震の一つです。

和歌山、愛知、静岡などで1200人以上が死亡、約2万棟の家屋が全壊したと推定され、市町村別で最も死者が多かった愛知県半田市では、中島飛行機半田製作所（以下「中島」）山方工場が倒壊し、半田市全体の死者数188人中153人（81%）が中島で被災した人たちでした。そのうち96人は動員学徒（労働力不足を補うため動員された中学生以上の生徒・学生、遠くは京都や松江などからも動員されていた）だったといいます。山方工場は、紡績工場を買収して転用したもので、飛行機工場としては狭く、間仕切りや柱を取り除くなどして空間を確保しており、「耐震性を無視した改装工事が倒壊の原因になった」という説もあり、多くの人々が倒壊したレンガ壁の下敷きになり死亡しています。

憲兵隊がすっ飛んできて、被害調査のため現地に入った名古屋地方気象台の職員や名古屋帝国大学の研究者らを捕まえ、「調査なんかする必要はない」と言って被害状況を隠蔽し報道管制を行っています。

「米軍にこっちの基地が壊れたとか、要塞がなくなったとか、トーチカがなくなったと分かれば、すぐにでも上陸してくる、それを隠したかった」「被害状況が報道されないから、救援や全国からの支援が行われずはずもなく、誰が一番ひどいことになったかというと、家の下で助けてって言っているおばさんや子どもやら」（はんだ郷土史研究会代表・西まさるさん）という状態でした。

そして、37日後の1945年1月13日に直下型の三河地震（M6.6）が発生し、半田市で12人が犠牲になり、その後、7月15日と24日に大規模空襲を受け中島は壊滅的打撃を受け、2度の空襲で市民が少なくとも264人が死亡し、多数の重傷者を出しました。

これらの犠牲者を追悼・慰霊するため、半田市中心部の雁宿公園には、「追憶之碑」（1950年：半田地区の震災殉難学徒48人の慰霊）、「殉難学徒之像」（1959年：震災殉難学徒97人の追悼）、「半田・戦災犠牲者追悼平和祈念碑」（1995年：軍需工場での震災犠牲者、空襲犠牲者、動員中の労災死亡者432人を追悼）が建っています。

みんなの声

◎最近、仲間（組合員）が増えました。声を形にできるよう、一緒に考えて一歩ずつ進んでいけたらなぁ…と思います。
M・T　大津市労連

◎能登半島震災の1日も早い復旧復興をおいのりします。
A・Y　滋賀県職

◎先日、イベントで当時2年生の娘が見つけた180万年前に生息していたワニの歯の化石について、寄贈した博物館から企画展をしたいので、再度、娘にインタビューをしたいと連絡がありました。企画展が楽しみです。
M・H　滋賀県職

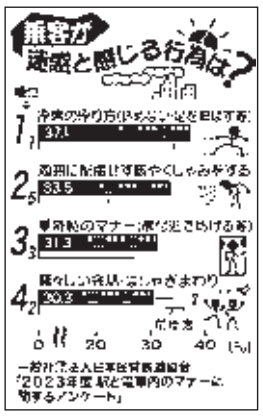
◎学校給食週間の時に、感謝週間と題して御礼の気持ちを児童一人一人から手紙でいただきました。自校給食を通じて生徒と繋がりを持てることに改めて、こちらも感謝の気持ちでいっぱいになりました。
H・T　日野町職労

◎前回、図書カードが当たり職場の机の上においてあるのを見て、同僚が良かったね！と自分のことのように言ってくれた言葉が温かく嬉しかったです。また当たると良いな
K・I　大津市労連

言ーたい劇場
小菅りや子

くらしと統計

電車内の迷惑行為
座り方、せき・くしゃみ



日本民営鉄道協会が発表した「2023年度　駅と電車内の迷惑行為ランキングでは、「座席の座り方」（37.1%）が昨年に続き1位となりました。2位の「周囲に配慮せず、せきやくしゃみをする」（33.5%）は、昨年の5位から急上昇しています。感染防止の行動規範が緩む一方、依然多くの人が警戒を続けていることが分かります。3位は「乗降時のマナー」（31.3%）、4位は「騒々しい会話・はしゃぎまわり」（30.3%）でした。乗降時のマナーでは「扉付近から動かない（乗降を妨げるなど）」が断トツでした。端で見ていても格好悪いものです。

話題の映画

『ネクスト・ゴール・ウィンズ』
幸せいっぱいの初勝利
タイカ・ワイティティ監督

世界最弱といわれた米領サモア・サッカー代表チームが2014年ワールドカップ地域予選で、公式戦初ゴールと初勝利を飾った奇跡的な実話の映画化。挫折や悲しみを味わったからこそ得られる幸せや他者への優しさを、ユーモアとサッカー愛をたっぷり盛り込んで描きます。

感情の抑制が効かない孤独な監督と、のどかな島国の選手たち。両者はぶつかり合いながらも、少しずつ距離を縮め、いよいよ予選が始まります。トランスジェンダーとして世界で初めて公式戦に出場した選手や南太平洋の人々の生き方にも心が引かれます。　2月23日より全国公開。

まちがいは7つ

【問題】上の絵と下の絵を比べると7カ所間違いがあります。どこでしょう。

（一次締切）3月21日（木）
（二次締切）3月31日（日）

正解者の中から抽選で図書カードを進呈。（一次締切日を過ぎて郵送された方にも当選権あり。二次締切当選者は翌々月号に発表）

《348号（二次締切）当選者3名》
田中　麻紀子様　大津市労連
下濃　久美子様　大津市労連
弓削　章様　滋賀県職

《349号（一次締切）当選者1名》
小西　将寛様　滋賀県職

《前号の正解》
ユキゲショウ

【応募方法】
WEB・ハガキ又はFAXで。答え、住所、氏名、単組名、職場のできごと、話題、家族のたよりなど、ひとことお書きください。（匿名不可）

【送り先】
〒520-0051
大津市梅林一丁目3-30
滋賀県自治体労働組合総連合
FAX 077(527)5522

▶ WEBで簡単応募ができます